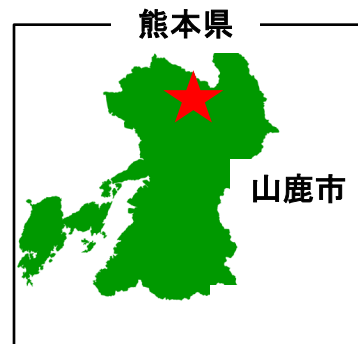


「やまが和栗」を利用した食育の実施

○ 山鹿市では、第2次山鹿市食育推進計画（平成30年度～令和5年度）において、食事の重要性、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性及び食文化を指導目標として各学校で食育を推進している。あわせて、稲作体験や野菜栽培体験を通して、食への興味や関心を高めるものとして食農教育も実施しており、月1回「やまがの日」として伝統料理を提供し、また普段の食材においても地元産を使用するように心掛けている。

○ 市内小中学校の給食に地元産物の中でも高付加価値のある「やまが和栗」を活用した試食メニューを提供するとともに、生産者と交流することにより地場産農産物について学習した。



【取組の内容】

- 「やまが和栗」を活用した試食メニューの提供
 - ・ 提供校 山鹿市内小学校8校及び中学校5校（県立支援学校を含む。）
 - ・ 提供回数 計15回



（試食メニュー）

- 地場農産物についての食育学習



（食育学習の風景）

【取組の成果】

- 「やまが和栗」を活用した試食メニューを食べ地場産農産物の学習をした結果、「産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ」と答えた児童生徒が95%となった。

【事業の目標】

- 学校給食提供メニューで地場産物が占める割合を増やす

事業実施前：11%

→事業実施後：30%

【目標達成率：100%】

- 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ人の割合を増やす

事業実施前：74.8%

→事業実施後：95.0%

【目標達成率：123.7%】

